

3月1日～7日は 春の火災予防運動期間です！！



令和7年瑞穂町消防団出初式カラー放水



産業まつり（11月9日）



第三小学校 3年生調べ学習（詰所見学）



東京消防庁震災訓練



令和7年3月
第23号
発行：消防団広報誌編集委員

消防団総合訓練

10月20日（日）、消防団総合訓練を実施しました。この訓練は事前に内容や場所等が明かされず、臨機応変に対応することが求められます。

今回は地震災害を想定した内容で、まず、狭山谷公園及び東松原公園で地震により負傷した要救護者の対応を行いました。要救護者の対応は年齢や負傷した箇所によって様々な処置が求められ、時には処置に必要な器具等が無い状況もあります。今回は足を負傷した要救護者に対し、その場に落ちていた傘を添え木にし、ホースが破裂した時に使用するホースバンドで固定して対応しました。

次に、リサイクルプラザで火災が発生した想定で、消火訓練を実施しました。消防団本部による指示のもと、各分団がそれぞれの役割を果たし協力することで、1線放水から2線放水への変更、無線機運用による適正なポンプ車の送水圧力管理等を通じて、実際の火災を想定した有意義な訓練になりました。

今回の訓練を通して、消防団は消火活動だけでなく、幅広い活動が求められることを再認識しました。火災や地震、台風等いつ起こるか分からぬ災害に備え、あらゆる場面で対応が出来るよう今後の訓練や分団での情報共有を行い、消防団活動をしていきます。
(担当 3分団)



瑞穂町産業まつり



展示コーナーでは、ポンプ車のほか、日の出町のバス「青春号」、陸上自衛隊の車両・装備品、航空自衛隊の軽装甲車などが並びました。普段はなかなか触れたり乗車したりする機会がないため、特に子供たちに大人気でした。子ども用の防火服を着てポンプ車に乗り、記念撮影を楽しむ姿は、まるで未来の消防団員のようでした。

また、後方では輪投げコーナーが設けられ、子どもたちは夢中になつて挑戦。なかなかうまく入らず、悔しがりながらも何度も並び直して挑戦する姿が見られました。

さらに、消防団の活動を多くの方に知つていただくため、来期に向けた消防団員の募集も行いました。多くの方に興味を持つていただき、消防団の役割や活動内容をPRする良い機会となりました。

今後も広報活動を続け、より多くの方に消防団の魅力を伝えていきたいと思います。

(担当 1分団)

11月9日(土)・10日(日)の2日間、ビューパーク競技場とスカイホールで「瑞穂町産業まつり」が開催されました。9日は第2分団、10日は第1分団が、それぞれポンプ車の車両展示を実施しました。天候にも恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。

展示コーナーでは、ポンプ車のほか、日の出町のバス「青春号」、陸上自衛隊の車両・装備品、航空自衛隊の軽装甲車などが並びました。普段はなかなか触れたり乗車したりする機会がないため、特に子供たちに大人気でした。子ども用の防火服を着てポンプ車に乗り、記念撮影を楽しむ姿は、まるで未来の消防団員のようでした。

（担当 1分団）

12月1日(日)、福生消防署と瑞穂町消防団による林野火災消防演習を六道山公園で実施しました。この訓練は、林野火災を想定した実践的な初動対応及び消火訓練を実施し、消防活動能力を高めて林野火災による被害の軽減を図ることを目的としています。

各分団が連携した遠距離送水要領と林野火災に対応した各種放水要領の確認、背負い式消火ポンプによる放水、チエンソーの取扱い操作について福生消防署指導のもと実施しました。

林野火災では延焼が拡大し長時間燃え続ける恐れがあるため、長時間の放水に対応した活動が求められます。消防ポンプ車による放水はもちろん、団員それが背負い式消火ポンプやチエンソーなどを駆使した機動性のある活動も重要となります。町民を始めとした多くの方々に親しまれる狭山丘陵の自然を守るため、本訓練を通じて瑞穂町消防団の消防力を高めることができました。

(担当 5分団)

林野火災消防演習



歳末特別警戒



12月25日(水)から12月30日(月)まで歳末特別警戒を実施しました。25日1分団、26日2分団、27日4分団、28日3分団、30日5分団、という日程で、26日には第2分団の詰所にて都議会議員、瑞穂町役場、福生消防署、消防団本部の方々による激励が行われました。

歳末特別警戒とは火気の使用が増え、空気が乾燥し火災が多発しやすい歳末に、火災を少しでも減らし地域の皆様に安心して年末年始をお過ごしいただけるよう行うものです。

19時30分から21時まで消防車にて町内各地域を警戒及び巡回広報し町民の皆様に火災予防を呼び掛けさせていただきました。夜間の巡回によりご迷惑をおかけすることもございますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

まだ空気が乾燥する時期が続きますので火気の取り扱いには十分注意され、火災の予防を心掛けていただきますようお願いいたします。

(担当 2分団)

例年1月第2日曜日に実施しているこの出初式は、地域住民に対しても消防団の活動を広報する良い機会となっています。出初式という晴れの場を通じて消防団員の士気を高めることができると同時に、分列行進や放水を多くの方々に見ていただくことで火災予防の重要性を伝えることができます。

今後も防災啓発活動や消防団・消防署との連携強化を通じ、安全・安心な地域づくりに貢献していきます。

(担当 本部)

令和7年消防団出初式

1月12日(日)新春恒例の消防団出初式を町営第2グランドで実施しました。当日は天候に恵まれ、ご来賓や来場者等多くの方々にご覧いたしました。昨年の出初式では、1月1日に発生した能登半島地震に悼の意を表し通常放水としましたが、今年は安寧を祈念し、例年どおりのカラー放水で実施することができました。

また、同日午前中は町内で消防車両による広報活動も行い、防火意識の向上をはかりました。

消防団の活動を広報する良い機会となっています。出初式という晴れの場を通じて消防団員の士気を高めることができると同時に、分列行進や放水を多くの方々に見ていただくことで火災予防の重要性を伝えることができます。

今後も防災啓発活動や消防団・消防署との連携強化を通じ、安全・安心な地域づくりに貢献していきます。

文化財消防演習

1月26日(日)、文化財防火デーに伴い、「狭山神社」にて文化財消防演習を、福生消防署・瑞穂町消防団第2分団・第4分団の合同で実施しました。

文化財防火デーとは、昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の火災にて文化財保護法が選定され、昭和30年に、1月26日を「文化財防火デー」と定めたことが始まりです。

瑞穂町にも数多くの貴重な文化財があります。これらを守る為、消防署隊・各分団が連携し、迅速に消火活動を行う為の演習を実施しました。

また、町民の皆様の生命の安全・安心と貴重な財産を守るためにも、このような演習を行う事で多様な災害現場にも対応できるように備えています。

今後とも消防団に対するご理解・ご協力を、よろしくお願い致します。

(担当 4分団)



QRコード



メールアドレス
mizuho.saigai
@mpme.jp

災害情報メール配信
町では町民へ災害や火災
が発生した時にメールの
配信を行っています。左の
QRコードを読み取るか
メールアドレスでご登録を
して下さい。

広報誌編集委員

本部	浦野 純	副団長	岩永 泰樹	副団長
1分団	児玉 洋平	部長	清水 久央	部長
2分団	榎本 龍也	部長	山田 太一	部長
3分団	尾作 真一	部長	猪俣 良次	部長
4分団	濱本 賢吾	部長	鳥海 茂身	部長
5分団	関根 大介	部長	田中 寿幸	部長

消防団事務局（役場 安全・安心課内）

☎ 042 (5557) 7610

消防団員募集!

自分の町、大切な人を守るため、
地域の防災の為に、
あなたの「チカラ」が必要です!!

条件

- ・在住または在勤者
- ・18歳以上
- ・健康な方

